

平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

経営理念 3 魅力ある資源を上手につなぎ、市民満足度を高めるはつかいち
 経営目標 2 ムダ・ムリ・ムラをなくし、みんなが元気な市役所に ～行政経営の推進～
 重点的取組 2 効率的、効果的な行政組織をつくる

担当課名	分権政策部 経営政策課		
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
	目	06	企画費

事業名	公共施設マネジメント事業	事業開始年度	平成 21 年度
	公共施設のマネジメント	根拠法令 条例 個別計画等	—

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	公共サービスを必要としている市民	公共施設管理システムや公共施設白書等で公共施設の管理運営情報を共有化し、公共サービスや公共施設の基本的な考え方を示した「公共施設マネジメント基本方針」と各公共施設の更新等のあり方（方向性）を示した「公共施設再配置計画」に基づき、人口構造と財政状況の変化に対応した持続可能な公共サービスを提供する。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	<ul style="list-style-type: none"> 各部局 委託業者 市民 	公共施設管理システムが職員にとって使いやすく、正確に作動するよう各部局及び委託業者と連携する。公共施設のあり方については、市民アンケートや対話により考える。

3 平成25年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容	各部局で情報を共有化するため、平成22～24年度にかけて構築した統合型GISシステム(「公共施設管理システム」「占有物管理システム」など)のサーバー保守とシステムのメンテナンスを行う。 また、公共施設マネジメントに関する職員研修を実施し、公共施設のあり方に対する意識を高める。 市民の公共施設に対するニーズと考え方を把握するため、市民意識調査を実施し、公共施設再配置計画の策定に着手する。		
	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 統合型GISシステム保守委託料 共有された地図データ上に各種業務情報を掲載し、関係部所管での情報共有を図るための統合型GISシステムのサーバー保守及びシステムの保守を業務委託により実施する。 ◎ 市民意識調査実施委託料 公共施設再配置計画の策定にあたり、無作為抽出した市民へのアンケート調査及び利用者アンケートを行い、公共施設に対するニーズ（現在、未来）を把握する。 ◎ 公共施設マネジメント職員研修 公共施設の更新問題やあり方に対する職員の意識を高めるための集合研修を行うとともに、専門性の高い職員を育成するため、市町村アカデミー等に派遣する。 	【歳出】 公共施設マネジメント職員講師謝礼 21 千円 職員研修旅費 144 千円 公共施設マネジメント職員研修講師旅費 36 千円 職員研修負担金 99 千円 統合型GISシステム消耗品 44 千円 市民意識調査実施委託料 1,000 千円 統合型GISシステム保守委託料 3,865 千円	

コスト情報(円)	項目	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	平成 25 年度予算
	財源内訳	直接事業費 A	21,105,000	2,099,000
国庫支出金				
県支出金		21,105,000		
借入金(市債)				
その他(使用料など)				
人件費(按分) B		1.00 人 8,849,000	1.00 人 8,857,000	1.00 人 8,752,000
	総事業費(A+B)	29,954,000	10,956,000	13,961,000
ト換算	① 人口(4月1日現在)	118,353 人	118,353 人	118,000 人
	② 市民1人当たり	253	93	118

到達目標	活動及び成果指標	単位	H 23 実績値	H 24 目標値	H 25 目標値	H 27 目標値	備考
	活動	公共施設地区別将来予測システム	—	—	構築	—	—
公共施設マネジメント方針		—	—	策定	—	—	—
成果	公共施設の用途変更や再配置	施設数	—	—	策定	未定	—
	施設運営の見直しが行われた件数	件数	—	—	—	未定	—